

在京白聖會報

在京白聖会
2012
総 会

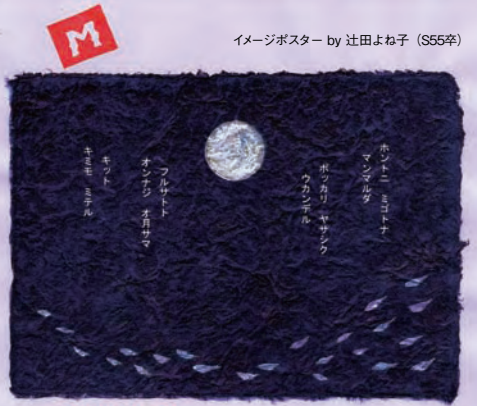
5月12日(土) 東京ガーデンパレスで開催

第44回総会は5月12日(土)に、前回同様東京ガーデンパレスで開催します。幹事は昭和55年卒が務めさせていただきます。前回は、東日本大震災を受け復興支援の義援活動としての開催となり、大勢のご参加をいただきました。あの前回の熱い思いをしっかりと受け継ぎ、大事に継承していくことが今回の幹

事の使命です。岩手を元気にするために、まず私たち自身が元気を出して、大いに飲んで食べて・語り、絆を深め、支援継続の気持ちを強めていくことが大事だと考えました。そこで、懇親会では昨年予定していた岩手の銘酒「鷲の尾」による鏡開きを初めとして、復興に懸命に努力している岩手沿

岸部の地酒・ワインの試飲会や、ロビーでの「いわて銀河プラザ」による岩手ゆかりの物産の出張販売を行います。県産品愛用のきっかけとしていただければ幸いです。懇親会のアトラクション企画も「絆」をテーマに、盛岡伝統の「さんさ踊り」をご披露しようと練習に励んでおります。会場

第32号
平成24年3月17日
発行
在京白聖会
(事務局)
〒105-0003 東京都港区
西新橋3-5-2
西新橋第一法規ビル 5F
玉澤健児税理士事務所 内
TEL&FAX.03-3431-5860(直通)
<http://www.hakua.sokei.co.jp/index.htm>



イメージポスター by 辻田よね子 (S55卒)

第44回 在京白聖会総会


日時：5月12日(土)
講演会 15時～／総会・懇親会 16時～
受付開始14時30分より

場所：東京ガーデンパレス (03-3813-6211)
(文京区湯島1-7-5) ※昨年の会場と同じです。

参加費：一般10,000円
(在京白聖会平成24年度年会費2,000円を含む)
学生・院生3,000円
(同上/但し、社会人・主婦の院生は一般扱い)

講演会 (講師とテーマの紹介)

テーマ：「人間の意思決定は【合理的】か？」
講師：長瀬 勝彦 (ながせかつひこ/55年卒)



首都大学東京・大学院社会科学部
研究科・教授。東京大学博士(経済学)
専門・研究分野 意思決定論
(著書)『あなたがお金で損をする
本当の理由』日本経済新聞出版社
(2010)『意思決定のマネジメント』
東洋経済新報社(2008)他多数
(記事・番組出演)小学『Domani』
フジテレビ『めざましテレビ』他、
幅広く活躍中

会場地図



Webでのお申し込みは
<http://zsoukai44.doorkeeper.jp/events/575-第44回-在京白聖会総会・懇親会>



で簡単なレクチャーも行いますので、踊りを思い出し出したいだけ、ぜひみなさまも一緒に輪になって踊りましょう。総会に先立ち開催する講演会では、首都大学東京・大学院社会科学部研究科・教授の長瀬勝彦氏(S55年卒)に「人間の意思決定が

どのように行われているか」をテーマに分かり易い解説をしてもらいます。ご期待ください。他にも「なかなか盛岡に戻る事ができないが母校の様子が知りたい」という声を受け、「盛岡一高及び一高周辺の今」というビデオレターの上映なども準備中です。歓談の時間にお楽しみください。盛り沢山で賑やかな会を目指しますので、ぜひ同級生・先輩・後輩をお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。出欠につきましては、同封のハガキにて4月20日(金)までにご投函いただければ幸いです。ウエブサイトからの申し込みもできます。(S55年卒幹事団)

第8回在京白聖レディス会

参加者募集

銀座でランチの女子会を!

レディス会再開ー開催日:平成24年6月16日(土)ー

女性同士の情報交換や親睦を目的に始まった「在京白聖レディス会」。昨年は幻の第7回となつてしまいました。今年はずいぶん盛況にしたいと思つております。今年も幹事年度は昭和35年卒でしたが、諸般の事情により辞退されましたので、レディス会会長の戸来が代行することにいたしました。皆様のご了承とご協力をお願いいたします。

今回の開始時刻は12時半といたしました。皆様お誘い合せてご参加下さい。

●日時:6月16日(土) 12時30分~15時30分(12時から受付)

●場所:レストランSun-mi(サンミ) 高松本店 中央区銀座6-3-9

●電話:(03)55683300

●会費:5,000円(在京白聖卒年会費未納の方はプラス2,000円)

●幹事:戸来ソウ子 電話(03)37951467

●申込:参加ご希望の方は、5月26日(土)までに、住所・氏名・卒業年次・電話番号を幹事まで電話(留守電になってしまいます)あるいはメールにてご連絡下さい。なお、当日のキャンセルはご容赦下さい。

sherai@mnh.biglobe.ne.jp

●申込:参加ご希望の方は、5月26日(土)までに、住所・氏名・卒業年次・電話番号を幹事まで電話(留守電になってしまいます)あるいはメールにてご連絡下さい。なお、当日のキャンセルはご容赦下さい。

ゲストにお願した玉澤健児さん(S43卒)はご自分の税理士事務所を現在「在京白聖会事務局」として、事務局長を務めておられます。お忙しいお仕事傍ら、長年続けておられるギターと唄は、昨年12月の白聖芸術祭の際にも披露され、集まった会員の喝采を浴びました。当日演奏していただきたい曲目等ありましたら、前もってリクエストして下さい。



昨年の芸術祭で演奏する玉澤健児さん

会場地図



第4回白聖芸術祭

活動報告

香り高い年末恒例の行事に

白聖芸術祭を、12月15日(木)~19日(月)の間、表参道・原宿のガレリア原宿で開催。会場には、絵画、彫刻、陶芸、書、写真、鎌倉彫、タペストリー、グラフィックデザイン、五行歌等々、約50点の多岐に亘るジャンルの力作が展示され、多くの皆様にご来場いただきました。

17日(土)は同会場において野口田鶴子さん(S40卒)による宮澤賢治の詩と白聖五行歌会員の五行歌の朗読、玉澤健児さん(S43卒)によるギターの弾き語りが催されました。

声楽を専攻された野口さんの朗読は、美しく心に真つ直ぐ響き、満場の聴衆は陶然とその世界に浸りました。続いて玉澤さん

が醸し出す甘いテノールの歌の世界は、時が経つのも忘れ、皆聞き入りました。

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

「ガレリア原宿」の会場風景。12月17日には朗読会やギター弾き語りなどのイベント終了後、隣接のレストランで懇親パーティーも行われた。



第6回ル・サロン・ブラン(芸術鑑賞クラブ)

活動報告

震災復興を五百羅漢に祈つて

白聖芸術鑑賞クラブ(ル・サロン・ブラン)は、11月12日、前日の雨が嘘のような秋晴れの下「箱根ラリック美術館&龍虎山長安寺」見学会を行いました。新宿発の高速バスが、事故渋滞に巻き込まれて1時間遅れでの到着。予定を少し変更し、箱根ラリック美術館のランチでスタートしました。食事の後、アール・ヌーボーとアール・デコ、双方を代表する宝飾・ガラス工芸家ルネ・ラリックの作品を各自自由に鑑賞。そのガラスの煌きにうっとりしつつ、そこから徒歩5分の長安寺に歩を伸ばします。

長安寺にて四半世紀前より、五百羅漢建立のメンバーとして制作に携わっている彫刻家・伊藤馨一さん(S52卒)の解説を聞きながら、境内、そして裏山を整備して散策コースとした羅漢場を廻ります。ここでしか聞けない実作者の話だけに、制作の

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)

その後、会場に隣接したレストランで有志による懇親会を開催。白聖芸術祭は、在京白聖会の師走の恒例行事として定着しました。会員の皆様には、今年の年末も、力作を制作されて出展されますよう、宜しくお願いたします。(詳細は「出典リスト」参照)



長安寺の裏山の散策コースで、制作に関わった伊藤馨一さんの解説に聞き入る参加者



充実の5日間、白堊芸術祭

「第4回白堊芸術祭」は、会場を神宮前に変更、会期も土日を含んで5日間の開催となりました。12月17日には40年卒・野口田鶴子さんによる宮澤賢治&五行歌の朗読の後、会員が得意な歌や芸などを披露するイベントを開催。イベント後はパーティータイムとなり、交流を深めました。



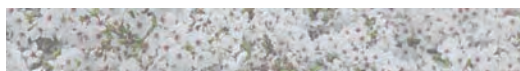
▲三船康道 (S43卒)
〈祈り(田老町万里の長城より)〉



▲玉澤健児 (S43卒)
〈田老・我が家跡〉



▲三浦千波 (S50卒) 〈みちのく風景〉



山中雅彦 ▶
(S49卒)
〈鏡台のある構図〉



▼及川昭伍 (S25卒)
〈三陸鎮魂
(五輪塔と地藏)〉



▲及川謙 (S61卒)
〈何処へ—Ofunato ground zero〉



▲板倉洋子 (S28卒) <静物>



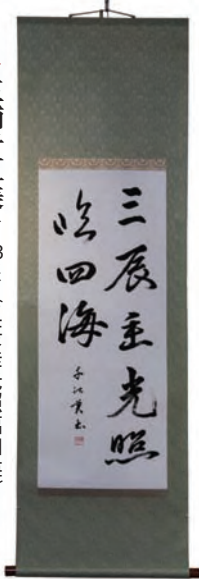
▲神尾厚 (S30卒) <マーガレット>



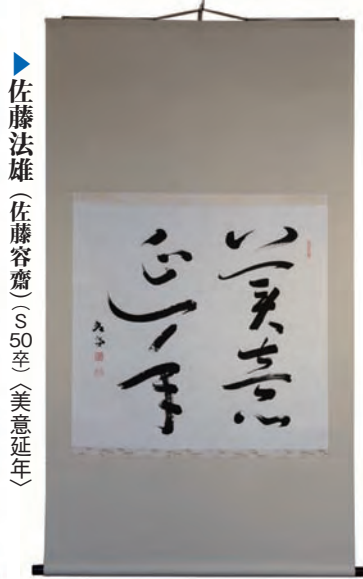
▲伊藤公雄 (S34卒)
<ビル谷間の小さな公園>



▶武田夏実 (武田素虹) (S53卒) <臨寸松庵色紙>



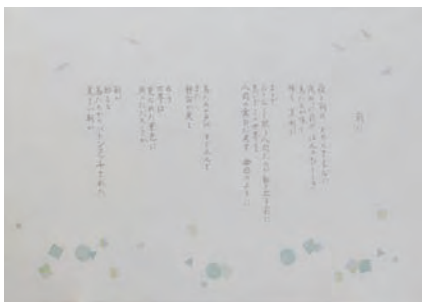
▶三浦千江美 (S53卒) <三辰垂光照臨四海>



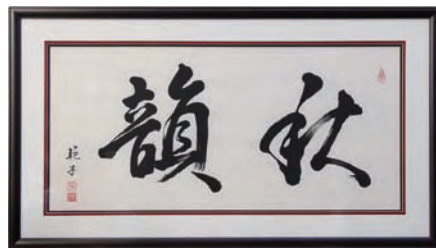
▶佐藤法雄 (佐藤容齋) (S50卒) <美意延年>



▲坂上洋子 (綾華) (S40卒)
<ふるさと稗貫郡石鳥谷>



▲辻田よね子 (辻やのか) (S55卒) <朝に>



▲川野範子 (S61卒) <秋韻>



▲池上敦子 (S50卒)
<「一栄一落是春秋」菅原道真より>



▲高橋正美 (S31卒)
<アンティークドール>



▲田部井恭子 (S34卒)
<北欧絵織物・白熊王>



▲松本雄 (S30卒) <故郷(ふるさと)>



▲坂本 務 (S44卒) 〈風の歌〉



▲南館英孝 (S36卒)
〈時空の戯れ (南ベルギーの木立で)〉



▲渡部恵子 (萌園翠) (S53卒) 〈睡蓮〉



▲橋本時浩 (S53卒) 〈誕生〉



▲渡部英俊 (S53卒) 〈暁光に煙る〉



▲八重樫誠司 (S53卒)
〈Dancing Sealion〉



▲佐々木美枝子 (S43卒) 〈幽富士〉



▲大澤邦雄 (S43卒)
〈ペルシダーに還る〉



▲村野井徹夫 (S35卒)
〈秋・彼岸花 (3D写真)〉

白堊芸術祭に掲出された
白堊会員の五行歌作品

五行歌展示は今回、
書とのコラボレーション
が実現。53年卒武田
夏実(素虹)さんに全
作品を書いていただき
ました。

馬場 信・S41卒

落日が美しい山々
シャケが上る清流
故郷の風景は
どんなときも
心のオアシスだ
(伊奈 裕・S38卒 稲垣裕雄)

緑の下に
どんな悲劇が
隠されているのか
上野の森に
蝉の謳経止まず
(山田武秋・S42卒)

薄雪を
黄いろに染めゆく
蜃梅は いま
陽光をうけ
青空に透ける
(吉田美雅子・S45卒)

夢に啄木が登場して
五行歌を語った
とても厳しいが
壊せないもの(心)を
守るそうだ
(光平・S31卒 早坂光平)

晩秋の、落ち葉を踏んで歩く道
肩を濡らす夕時雨
心をよぎるは想い出の
ふたりで歩いた
恋の途
(だいてんち・S36卒 星邦彦)

雨がみぞれに変わる頃
父母の逝った
北国を思い
がむしゃらに歩いてみる
ここは東京
(つろうち・S42卒 二宮まゆみ)

12月17日(土)に行われた
野口田鶴子さんの五行歌&宮澤賢治朗読会



▲戸澤 聰 (S40卒)
〈震災、大船渡〉

ポツと出てきた
昔の紳士とその妻
お手々つないで
夕暮れの舗道
楽しや銀座
(八十若・S22卒 小川達雄)



▲菊池雅子(S44卒)〈悠久〉



▲伊藤馨一(S52卒)
〈レクイエム〉



▲毛利洋子(S41卒)〈静物〉



▲一戸裕子(S43卒)〈柚子〉



▲千葉祐治(S41卒)
〈木の実は大好物〉



▲小野寺長道(S28卒)〈雲間の妙高〉



▲伊東明子(S50卒)〈10月のバラ〉



▲浅沼榮一(浅沼一道)
(S27卒)〈嘸松〉



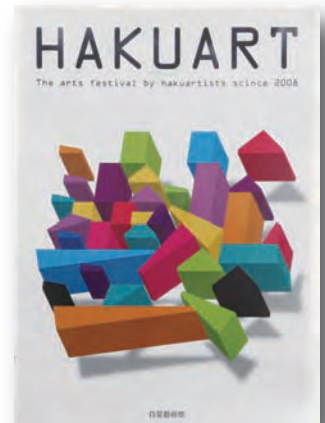
▲鍛冶順子(S61卒)〈天神山の紫陽花〉



▲福田隆(S49卒)〈木津川〉



▲宮野谷篤(S53卒)〈竹林仰天〉



▲水原滋(S50卒)
〈HAKUART POSTER〉

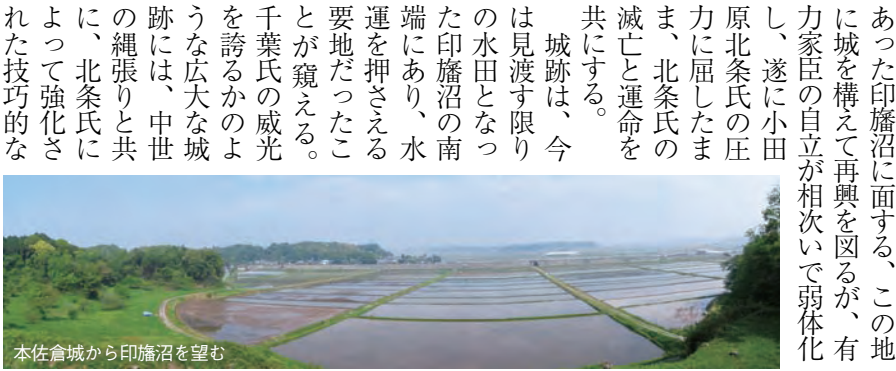
第10回 中世城郭探訪 本佐倉城(千葉県酒々井町)

参加者募集

千葉氏終焉の地、千葉県内屈指の規模を誇る！

―開催日：平成24年4月21日(土) 催行

鎌倉幕府草創期に有力御家人として下総に勢力を振るった千葉氏であったが、室町時代に入ると、一族間の抗争で衰退し、本拠の亥鼻城(千葉県庁東側の台地)から逃げるように点々と内陸部へ本拠を移して行った。最後は、当時の水運の大動脈であった印旛沼に面する、この地に城を構えて再興を図るが、有力家臣の自立が相次いで弱体化し、遂に小田原北条氏の圧力に屈したまま、北条氏の滅亡と運命を共にする。城跡は、今は見渡す限りの水田となつた印旛沼の南端にあり、水運を押さえる要地だったことが窺える。千葉氏の威光を誇るかのような広大な城跡には、中世の縄張りと共に、北条氏によって強化された技巧的な



本佐倉城から印旛沼を望む

遺構も残っており、築城技術、その規模からも、千葉県内屈指の見応えある城跡である。

本佐倉城の見学後、佐倉市内に移動して、保存されている佐倉藩の武家屋敷及び国立歴史民族博物館が所在する佐倉城跡を見学する。

〔実施要領〕

- 日時：4月21日(土)
- 集合場所：京成上野駅改札口内
- 集合時刻：8時30分
- 行程：京成上野駅発08:47(成田空港行特急)↓大佐倉駅着09:48↓本佐倉城↓佐倉藩武家屋敷・佐倉城↓京成佐倉駅前にて解散(16時頃)
- 参加資格：どなたでも参加可能
- 年会費：平成24年度在京白聖会年会費(2千円)を当日納付することが可能
- 服装：殆ど起伏がないので、軽装可
- 申込：4月18日(水)までに事務局へ
- 案内：事務局専属の解説員が見所を説明
- その他：途中駅での合流及び現地集合(大佐倉駅前も可能。申込時に連絡の事)

〔中世城郭探訪 報告〕

第9回 烏山城見学記

平成23年11月19日(土)、中世城郭探訪9回目にして、初めての雨天での決行となった。雨の中、烏山駅を出発し、まずは麓



戦車工場を転用した酒蔵

の三の丸跡に到着した。ここには政庁があったとのこと、秀吉の小田原攻め直後に改易となった織田信雄は、この辺りに蟄居させられていたのでは、と4百年前に思いを馳せた。

そこから本丸へと通じるぬかるみの大手道を、こんな経験は滅多にないということで、勇んで登り続ける。本丸は発掘調査中らしく、所々、縄を張って発掘場所を保護している様子を見ることが出来た。いざれ整備されて見易くなった城址になるものと思われる。それにしても、山頂部を開削して築かれた雄大な規模の二重空堀を目の前にして、登って来た甲斐があったという思いに浸ることになった。

城跡を下りた後は、山を切り抜いて作られた、地元の造酒屋島崎酒造が酒蔵として使用している戦時中の戦車工場跡を見学したり、城下町烏山らしく「山あげ祭り(道路一杯に造られた大がかりな舞台で市民が歌舞伎を演じる)」・国の重要無形民俗文化財」を展示している会館を見学したりして、那須地方の歴史文化を体験する、素晴らしい一日となった。

第七回「歌の祭り」

参加者募集

生のピアノ伴奏で歌を楽しみましょう！

―開催日：平成24年8月1日(水) 催行

「歌の祭り」は、本年8月1日(水)に夏の会を開催します。「生のピアノ伴奏で合唱や独唱を楽しみましょう」というのがこの催しの趣旨です。歌の大好きなみなさんのご参加をお待ちしております。

〔実施要領〕

- 日時：平成24年8月1日(水)、13時〜17時
- 場所：洋風居酒屋『ボナベティ』品川区中延3-8-7▽電話(03)3787-3634
- 参加費：5千円(ノンアルコール：4千円) ※在京白聖会平成24年



第6回「歌の祭り」は24名が参加、幅広いジャンルに挑戦した

度年会費(2千円)未納の方は、当日、納付することが可能です。

●申込：5月末日までに左記申込先をお願いします。なお、FAX又はEメールアドレスをお持ちの方はお知らせください。参加申込みの方は、後日詳細な案内を送ります。なお、ピアノ伴奏で独唱を希望する方は(一人2曲まで)、当日までに楽譜をお送りください。

- 申込先：早坂光平 TEL&FAX (03) 39322-2725 e-mail: hayak@com.home.ne.jp 〒117-50082 東京都板橋区高島平8-27-11 207
- 楽譜送付先：阿部克行(31年卒) TEL&FAX (043) 279-4707 〒261-0011 千葉市美浜区真砂2-23-9-503

〔第6回歌の祭り〕活動報告

5時間のロングランで歌を堪能

2月12日(日)、第6回「歌の祭り」を笹塚のバンケットBlue-Tにて開催。23年卒の伊藤先輩から47年卒のボーイ&ギャルまで広範な世代が参加しました。伊藤先輩の乾杯のご発声、ディナーを頼張りながらの自己紹介の後、ピアノ伴奏での独唱や合唱タイムに。最後は「私の好きな歌」を歌って、たっぷり5時間、歌を満喫しました。

第9回 在京白聖会ゴルフ大会

活動報告

42年卒疾風会が連覇達成

東日本大震災のため、6月開催予定を延期、10月28日(金)に実施された第9回在京白聖会ゴルフ大会年次対抗の部は、42年卒疾風会が連覇を果たしました。また、個人の部でも、前年優勝の疾風会・石井充さんが2連覇を達成しました。日程変更



昨年10月28日に開催したの第9回 在京白聖会ゴルフ大会参加者

の影響もあつてか、例年は30数名の参加者があるところ、昨年は20名の参加で、やや寂しい大会ではありましたが、団体、個人とも連覇は初の快挙です。



初の連覇を達成した疾風会(S42卒)のメンバー。個人の部優勝もS42卒石井充さん(右から2人目)が2連覇。疾風会は団体の部でも通算3勝となり、打倒疾風会が今年の大きな目標になった。

白聖五行歌会

白聖五行歌会は、毎月第1金曜日午後6時30分から秋葉原で歌会を行っています。参加をご希望の方は03-3269-3420(42年卒・白聖五行歌会代表・山田)まで電話またはメールでお気軽にご連絡ください。Eメールアドレス sakuraco@leaf.ocn.ne.jp

冬空へ まっすぐ伸びる 桜木は 芽をびっしりとつけ 春を待つ 吉田美雅子(45年卒) 牙えざえと 競う合うよな 星と月 負けじと蒼く 残り雪 ろろちち(42年卒)

天は正直 僅かな標高の差を 違えることなく 高い峰から 白い冠を置いていく 山田武秋(42年卒) 術後初めての食事 大根の味噌汁が 旨くて旨くて 生きていく喜びを 噛みしめる 伊奈 裕(38年卒)

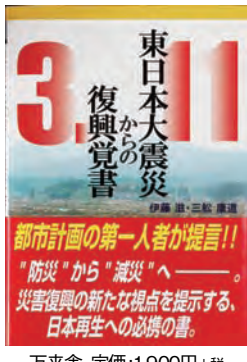
※2011年10月~2012年3月までの作品から。名前はペンネームもあります。

新刊紹介

三船康道さん(S43卒)

『東日本大震災からの復興覚書』

歴史的景観保全などで実績を上げてきたS43年卒の三船康道さんは、震災直後から被災地を何度も訪問、その成果を都市計画の第一人者として『東日本大震災からの復興覚書』というかたちでいち早くまとめ、昨年の8月25日に上梓しました(伊藤滋・都市防災研究所会長、東大名譽教授との共著)。この『覚書』は、1000年に一度の災害に備え



万来舎 定価:1,900円+税

るといふ立場ではなく、「多少のリスクを意識しながら災害対応」を行う「減災」という視点から構想され、被災地復興のための処方箋を示したものの。災害の現場を見ず、地元の声に耳を傾けることなく机上の復興のプランを描き、遅々として進まない現状を鑑みると、ぜひ、手に取っていただきたい提言の書です。

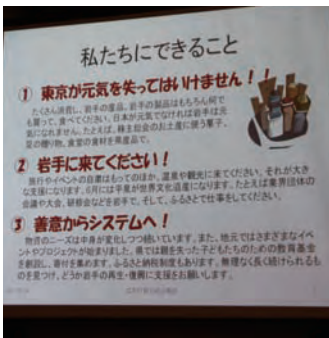
本書には、S50年卒で大船渡市出身の三浦千波さんの父親で地元の気仙大工だった賢吉さんが、1960年のチリ地震の経験をもとに地震に強い鉄筋を入れたコンクリートブロック造りの住宅を建設、この建物によって三浦さんの母親が一命をとりとめたエピソードが写真入りで紹介されています。三浦さんの住まいがあつた同市赤崎地区の木造家屋は壊滅してしまいました。この工法による建物は流されることなく、三浦さんの母親の千花野さんも、2階の天井近くまで押し寄せた泥水に浸かりながら、長押し掴まって助かりました。周囲の方々から千花野さんは「ご主人に助けられた」と言われています。

著者は「このような話がたくさん埋もれている。こうした方々の努力を無にしてはならない」とあつた。本書には地元の生活者の知恵を復興に活かす日本再生の道筋が示されています。

編集後記

▼1年前の本号完成直前、東日本大震災が発生しました。急遽、行事の中止や予定の変更などが派生し、多くの方に心配やご迷惑をおかけしましたが、幸い皆様のご理解を得られ大きな混乱はありませんでした。酒肴をなくし、その分を義援金に当てようと企画を変更した総会は、300名を超える参加をいただきました。義援金額は657万円余に達しました。白聖の底力です。

▼震災から1年、世の中は早くも震災の記憶を拭拭しようとしています。しかし、地元岩手から聞こえてくる声は「まだ始まったばかり。復興はこれから」という悲痛な叫びです。岩手をはじめ被災地はまだその渦中におかれています。この声に耳を傾け、手を差し伸べるのが在京白聖会の大きな使命といえるでしょう。▼多くの会員がさまざまな形で支援活動を行っています。そういった活動を事務局にお知らせ下さい。1日も早い復興を願ひ、大きな輪にしていきたいと思います。



昨年の総会より

お願い 総会に出席できない方は、同封の振替用紙にて年会費2,000円をお振込み願ひます。手数料節約のため、振込みは窓口ではなく、極力ATMにてお願ひします。